

申請団体名： 今福地区まちづくり推進委員会

令和元年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名

利便的な活動施設整備事業

事業費（予算額）： 391,915 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業： 391,500 円）

P・事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

今福地区の耕作放棄地の増加や浜田八重可部線沿線の耕作放棄地は、地域の景観を損ねる大きな要因となっている。当委員会が所有する大型草刈機 2 台については、収納保管庫が無く、地区民は不便さを感じている。よって、住民の利便性を図るために、今福公民館付近に収納保管庫を整備することにより、積極的に農業機械を借りて、景観保全活動を行うことができる。また、チラシを全戸配布して利用促進を図る。

地域の農業者が栽培した野菜については、当委員会が購入した野菜乾燥機を活用し加工品として販売している。これまでは单相 200V の電源がある個人宅へ設置をお願いし、利用者がそこで作業を行ってきたが、個人宅への設置では利便性も悪く、また、個人への負担となるため、野菜乾燥機をもやい市倉庫付近に移設し、利用者の拡大や更なる商品化の検討を行いたい。

D・事業の概要

今福公民館付近に大型草刈機 2 台の「収納保管庫」を整備した。（景観保全対策）

もやい市倉庫へ单相 200V の配線設備を行った。（加工品開発）

今福地区全 220 戸へ利用促進チラシを配布した。（利用促進取組）

C・課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

				○						
--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--

・上記評価の理由

大型草刈機の周知不足の感がある。利用者が限定されている。单相 200V 設置も利便性は改善されたが、利用者拡大までには至っていないので、解決度合を 5 とした。

A・事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと
（評価を 10 に近づけるために）

この取組を維持、継続していくためには、若い世代にいかに関心を持ってもらい、協力、参加の体制を構築できるかが重要となってくる。そのためには、地域住民や若い世代を対象とした機械の利用講習会や、加工品の研究、開発などを幅広い年齢の人が一緒に活動をしていくことを進めながら、地域活動や農業生産活動を担う後継者対策に傾注していきたい。

